
京都世界水大賞 2024

報告書



共催

京都市・世界水会議（WWC）・日本水フォーラム

2024年11月

目次

はじめに.....	1
1. 京都世界水大賞	2
1.1 京都世界水大賞とは.....	2
1.2 京都世界水大賞 2024.....	4
2. 受賞団体によるプロジェクトの概要	14
2.1 受賞団体の概要.....	14
2.2 受賞団体によるプロジェクトの概要.....	15
3. 協賛.....	16

報告書に記載の情報は、2024年6月末時点のものです。

はじめに

京都世界水大賞 2024 の共催者として、インドネシアの「Youth Sanitation Concern (以下、YSC) 」(ユース・サニテーション・コンサーン) の授賞を心よりお祝い申し上げます。

YSC はコロナ禍という衛生に関して難しい局面において、地域のインフラ整備(公衆トイレ)を行い、周知キャンペーンを通じて地域住民へ衛生習慣を定着させたこと、及びプロジェクト実施後に地域住民が連携して施設を適切に管理する仕組みを構築したことが高く評価されました。

大賞の選定にご尽力いただいた京都世界水大賞 2024 選定委員会の榊原隆委員長(JWF 参与)、Ahmet Mete Saatci 副委員長(WWC 理事)、山崎正和委員(京都市総合企画局総合政策室 前 SDGs・市民協働推進部長)に厚く御礼を申し上げます。

あわせて、授賞式当日にご登壇いただいた日本水フォーラムの沖大幹副会長、旭酒造株式会社の桜井一宏社長、YSC の Iffah Rachmi コーディネーターにも厚く御礼を申し上げます。

本大賞の開催及び賞金の授与に当たり、下記の協賛企業様より多大なるご支援をいただきました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

協賛企業：旭酒造株式会社 株式会社島津製作所

YSC が、同様の水問題に直面している草の根団体に対するロールモデルとしてさらに発展することとを期待します。



松井孝治

京都市
市長



竹村公太郎

日本水フォーラム
代表理事・事務局長



ロイック・フォーシオン

世界水会議
会長

1. 京都世界水大賞

1.1 京都世界水大賞とは

京都世界水大賞は、途上国の水問題に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する、世界で唯一¹の国際的な賞です。2003年、第3回世界水フォーラムが日本（琵琶湖・淀川流域）で開催されたことを契機に、京都市と世界水会議により創設されました。以来、3年に一度開催される、世界水フォーラムに併せて実施されています。

◆ 歴代受賞団体

第1回京都世界水大賞

受賞団体：Gram Vikas（インド）

URL：<http://gramvikas.org/>

授賞式：第4回世界水フォーラム（2006年、メキシコ）

第2回京都世界水大賞

受賞団体：Watershed Organization Trust（インド）

URL：<http://www.wotr.org/>

授賞式：第5回世界水フォーラム（2009年、トルコ）

第3回京都世界水大賞

受賞団体：Katosi Women Development Trust（ウガンダ）

URL：<http://www.katosi.org/>

授賞式：第6回世界水フォーラム（2012年、フランス）

第4回京都世界水大賞

受賞団体：Environment and Public Health Organization（ネパール）

URL：<http://enpho.org/>

授賞式：第7回世界水フォーラム（2015年、韓国）

第5回京都世界水大賞

受賞団体：Charité Chrétienne pour Personnes en Détresse（トーゴ）

URL：<https://www.ccpdtogo.org/>

授賞式：第8回世界水フォーラム（2018年、ブラジル）

第6回京都世界水大賞

受賞団体：Pragati（インド）

URL：<https://pragatikoraput.org/>

授賞式：第9回世界水フォーラム（2022年、セネガル）

¹ 日本水フォーラム調べ

1.2 京都世界水大賞 2024

京都世界水大賞 2024 では、過去に実施されたプロジェクトの成果や影響を審査対象として公募を行いました。

今回の京都世界水大賞は、

- 京都の伝統と革新を調和させながら自然災害、疫病等から復興してきた強靱性と発展の歴史に着目
- 地域の共同体の固有の社会的・文化的な特徴を踏まえた活動が、その地域の持続可能な発展につながる

という考えの下、発展途上国の将来に資する水問題解決に向けて精力的な活動に取り組む優れた草の根団体を顕彰することで、草の根活動の質の底上げを期待するとともに、広く世界に発信することで草の根活動の重要性を訴えていくことを目的としました。

◆ ロゴマークの作成

今回の大賞実施にあたり、新たにロゴマークを作成しました。本ロゴマークは日本・京都の伝統工芸である水引で雫の形をあしらったデザインです。水引には「大切な贈り物」という意味の他に、ひもを引いて結ぶ「つながり」という意味もあり、京都世界水大賞を通じて、水への思いが結ばれ、繋がってほしいという願いが込められています。

また、ロゴの形状は、4つの雫の形を重ねることで、幸運の象徴である四つ葉のクローバーをイメージしています。京都世界水大賞における取組みによって、水問題が解決していくことで、人々に幸せをもたらしたいという願いが込められています。



ロゴタイプには、Oの部分に、この水引のあしらいを入れました。地球上に住むものがすべてが平等であるという思いから、OやAに正円が入れられています。



◆ 公募と周知

今回の大賞実施にあたり、2023年8月にPR動画2本（どちらも英語）を新たに作成し、各共催者のウェブサイト等のほか、日本水フォーラム公式SNS等を活用して公募の周知を行いました。その結果、30カ国から70件の応募が寄せられました。

作成した PR 動画（英語）

 <p>Kyoto World Water Grand Prize 2024_PR_1min</p>	 <p>Kyoto World Water Grand Prize 2024_PR_3min</p>
<p>1 分版 https://www.youtube.com/watch?v=HH-mxlbJWhI</p>	<p>3 分版 https://www.youtube.com/watch?v=2CRA_kdj7Ls</p>

各共催者のウェブサイトおよび日本水フォーラムの SNS への掲載

 <p>日本水フォーラム / Japan Water Forum @JapanWaterForum · 2023年5月27日 ... 「京都世界水大賞2024」6月1日より募集開始や 第10回世界水フォーラム、テーマ別プロセスのワーキンググループの関心表明募集ほか 詳細はこちら waterforum.jp/news/20681/ #日本水フォーラム @JapanWaterForum</p>	 <p>Japan Water Forum 2023年6月1日 Kyoto World Water Grand Prize 2024 Calling for applications! https://youtu.be/T5zPXXgmYig ... さらに表示</p> <p>YOUTUBE.COM Kyoto World Water Grand Prize 2024_PR_1min Kyoto World Water Grand Prize 2024: Calling for applications!How L...</p>
<p>日本水フォーラム公式 Twitter</p>	<p>日本水フォーラム公式 Facebook</p>

	
<p>京都市ウェブサイト（抜粋）</p>	<p>WWC ウェブサイト（抜粋）</p>

🔵 **審査と受賞団体決定**

今回の選考では、「文化」と「コミュニティ」に寄与し、持続可能な活動であるかという点を重視し、審査を行いました。そして、京都世界水大賞 2024 選定委員会による厳選な選考の結果、コロナ禍という衛生に関して難しい局面において、地域のインフラ整備（公衆トイレ）を行い、周知キャンペーンを通じて地域住民へ衛生習慣を定着させたこと、及びプロジェクト実施後に地域住民が連携して施設を適切に管理する仕組みを構築したことが高く評価され、インドネシアの団体「Youth Sanitation Concern」（受賞団体の詳細については「2.受賞団体に関する情報」に記載）が大賞に選定されました。受賞団体の決定は、共催者のウェブサイトや日本水フォーラムのSNSなどで発表しました。

審査概要

募集期間や選定委員会等の情報は以下のとおりです。

- ・ 募集期間：2023年6月1日～2023年9月15日
- ・ 総応募件数：30カ国、70件
- ・ 1次審査結果：通過32件
- ・ 2次審査結果：通過3件

- ・ 最終審査結果：大賞 1 件
- ・ 京都世界水大賞 2024 選定委員会：
 - <委員長>：日本水フォーラム 参与 榊原隆
 - <副委員長>：世界水会議 理事 Ahmet Mete Saatci
 - <委員>：京都市総合企画局総合政策室 前 SDGs・市民協働推進部長 山崎正和

各共催者の SNS およびウェブサイトへの掲載

<p>日本水フォーラム公式 Twitter</p>	<p>日本水フォーラム公式 Facebook</p>

<p>京都市プレスリリース</p>	<p>京都市ウェブサイト（抜粋）</p>

GENERAL INFORMATION OF THE WINNER ORGANIZATION OF KYOTO WORLD WATER GRAND PRIZE 2024



Winner Organization Youth Sanitation Concern

Winner organization : Youth Sanitation Concern
 Project Area: Bandar Lampung, Lampung Province, Indonesia
 Winner organization's Instagram account URL: [link](#)

Reason for selection : The organization has been recognized for addressing the challenging circumstances of the COVID-19 pandemic by building toilet sanitation infrastructure (public toilets). Also their efforts to expand hygiene habits among toilet residents through awareness activities were acknowledged. Furthermore, the community's collaborative management practices of the facilities after the project implementation was highly praised.

Prize money : JPY2,000,000—
 JWP's Website URL: [link](https://www.waterforum.jp/en/)

Pictures of the project:
 **



WWC ウェブサイト (抜粋)

◆ イベントブースでの京都世界水大賞関連イベントの開催

今回の京都世界水大賞では授賞式の外、世界水フォーラムの Fair and Expo においてトークイベントを実施しました。詳細については下記の通りです。

●主催：日本水フォーラム

●協力：世界水会議

●協賛：旭酒造株式会社

●日時場所：

1) 5月23日 16:30 - 18:00 日本パビリオン(ND19)

2) 5月24日 15:00 - 16:00 WWC イベントスペース(ND20)

●主な登壇者

Ahmet M Saatci 氏、世界水会議理事

沖大幹氏、日本水フォーラム副会長（ND19のみ）

桜井一宏氏、旭酒造株式会社代表取締役社長（トップスポンサー）

Iffah Rachmi 氏、YSC（受賞者）

●使用言語：英語（逐次通訳を含む）

●目的：

・授賞式だけでは伝えきれない、今回の大賞受賞団体の活動内容とその重要性を、第10回世界水フォーラムの場で発信する。

・京都世界水大賞2024のトップスポンサーと受賞者を招いたセッションの実施により、ドナーと受賞団体の直接対話という貴重な機会を実現する。

・ドナーと受賞団体の対話内容を公開、また前回の第6回京都世界水大賞受賞者も参画し、水に関する草の根活動の重要性を発信することで、聴衆に対し啓発を行う。

・京都世界水大賞のファンづくりとブランディングを図る。

 <p>JAPAN NIGHT 3 Special Talk Session and Gathering Why Water? Why Grass-Roots?</p> <p>📅 Thursday, May 23rd 🕒 16:30-18:00 📍 Japan Pavilion (ND19)</p> <ul style="list-style-type: none"> • The activities and significance of the winning organization of this year's Kyoto World Water Grand Prize, which cannot be fully conveyed during the award ceremony. • Direct dialogue between donors and beneficiaries, creating a valuable opportunity for interaction. • Prof. Taikan Oki, the 2024 Stockholm Water Prize Laureate, will moderate the talk session and host the JAPAN NIGHT 3. <table border="0"> <tr> <td> MODERATOR Prof. Taikan Oki Vice-president, Japan Water Forum Professor, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo</td> <td> SPEAKER Ms. Iifah Rachmi Coordinater, Youth Sanitation Concern</td> </tr> <tr> <td> SPEAKER Mr. Kazuhiro Sakurai CEO, Asahi Shuzo Co., Ltd.</td> <td> SPEAKER Prof. Ahmet M Saatci Board Member, World Water Council</td> </tr> </table> 	 MODERATOR Prof. Taikan Oki Vice-president, Japan Water Forum Professor, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo	 SPEAKER Ms. Iifah Rachmi Coordinater, Youth Sanitation Concern	 SPEAKER Mr. Kazuhiro Sakurai CEO, Asahi Shuzo Co., Ltd.	 SPEAKER Prof. Ahmet M Saatci Board Member, World Water Council	 <p>Kyoto World Water Grand Prize 2024 Special Events at the Fair & Expo Talk Session Why Water? Why Grass-Roots?</p> <p>Date, Time & Venue: May 24th, Fri. Thu. 15:00 - 16:00 at WWC Booth ND19J</p> <table border="0"> <tr> <td> Moderator Mr. Yuta Yamamoto Marketing, Asahi Shuzo Co., Ltd.</td> <td> Speakers Ms. Iifah Rachmi Coordinater, Youth Sanitation Concern Mr. Kazuhiro Sakurai CEO, Asahi Shuzo Co., Ltd. Prof. Ahmet M Saatci Board Member, World Water Council</td> </tr> </table> <p>Join us for conversations with the Winner of Kyoto World Water Grand Prize 2024!</p> <ul style="list-style-type: none"> • We will disseminate the activities and significance of the winning organization of this year's Grand Prize, which cannot be fully conveyed during the awards ceremony. • We aim to facilitate direct dialogue between donors and beneficiaries, creating a valuable opportunity for interaction. 	 Moderator Mr. Yuta Yamamoto Marketing, Asahi Shuzo Co., Ltd.	 Speakers Ms. Iifah Rachmi Coordinater, Youth Sanitation Concern Mr. Kazuhiro Sakurai CEO, Asahi Shuzo Co., Ltd. Prof. Ahmet M Saatci Board Member, World Water Council
 MODERATOR Prof. Taikan Oki Vice-president, Japan Water Forum Professor, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo	 SPEAKER Ms. Iifah Rachmi Coordinater, Youth Sanitation Concern						
 SPEAKER Mr. Kazuhiro Sakurai CEO, Asahi Shuzo Co., Ltd.	 SPEAKER Prof. Ahmet M Saatci Board Member, World Water Council						
 Moderator Mr. Yuta Yamamoto Marketing, Asahi Shuzo Co., Ltd.	 Speakers Ms. Iifah Rachmi Coordinater, Youth Sanitation Concern Mr. Kazuhiro Sakurai CEO, Asahi Shuzo Co., Ltd. Prof. Ahmet M Saatci Board Member, World Water Council						
<p>ジャパンパビリオンイベントフライヤ</p> <p>—</p>	<p>WWC イベントフライヤー</p>						

日本パビリオン(ND20)でのイベント

日本水フォーラム 沖副会長のモデレーションにより、「Why Grass-Roots ?」をテーマにトークセッションを開催しました。

WWC の Saatci 氏は、世界では政府の援助を受けられないエリアが多いことから、「草の根活動」の重要性を強調しました。

YSC の Rachmi 氏はインドネシアの離島で水問題に取り組む草の根活動の経験を共有しました。

旭酒造株式会社の桜井社長は若い世代の環境改善の姿勢と旭酒造の理念の共通点について述べ、その後の質疑応答セッションにおいて、桜井社長から「他者を喜ばせたい。」という考えは、YSC と旭酒造の共通の目的であると言及しました。

また、Saatci 氏からの YSC の活動の困難点についての質問に対して、Rachmi 氏はインドネシアの水問題が多様で広範囲にわたることを説明しました。

今回のイベントでは前回の京都世界水大賞受賞者であるインドの団体「Pragati」から Prabhakar Adhikari 氏が参加され、京都世界水大賞受賞のおかげでプロジェクトを進展させることが出来たことや、今回受賞者である YSC の受賞を祝福する旨の発言がありました。



WWC イベントスペース(ND19)でのイベント

日本水フォーラムのマネージャーの常宗がモデレーターを務め、トークセッションを開催しました。

Rachmi 氏は衛生（Sanitation）に関する活動の重要性と過疎地をターゲットにした団体の活動について説明しました。衛生面の啓発活動上の困難な点についてコメントを求められた際は、団体としての活動の歴史が浅く、啓発効果も限定的であることを挙げ、特に活動を継続することの重要性について強調しました。

旭酒造株式会社の桜井社長は人々を幸せにすることを自社の理念としていること、また、Rachmi 氏の説明で、綺麗な水の重要性を再認識し、今後も綺麗な水のために活動する人々をサポートしていくと述べました。

WWC の Saatci 氏が他の NPO/NGO に対するアドバイスを求めたところ、Rachmi 氏は、それぞれの組織がコミュニティに深く参画することによるサステナビリティの実現の重要性について言及しました。また、桜井社長からの 2030 年のゴールに向けた課題への取り組みについての質問に対しては、メンバーが同じビジョンを共有しながら、異なるアイデアや活動を一体化していくことの難しさを説明しました。



トークセッションの様子

◆ 授賞式

2024年5月24日、インドネシアのバリで開催された第10回世界水フォーラムの閉会式内において、本大賞の授賞式を執り行いました。（参考：授賞式概要）

授賞式では、受賞団体 YSC の Iffah Rachmi 氏がスピーチを行いました。また、主催者を代表し、日本水フォーラムの沖副会長が YSC の Iffah Rachmi 氏へ賞金ボードを手渡しました。その後、旭酒造株式会社 桜井社長より記念品（フォトブック）の授与を行い、最後に、京都市の松井孝治市長より寄せられたビデオメッセージを上映しました。

授賞式概要

- ・ 開催日：2024年5月24日
- ・ プログラム：
 - ①概要説明：日本水フォーラム副会長 沖大幹
 - ②協賛理由説明：旭酒造株式会社 社長 桜井一宏
 - ③受賞団体評価ポイント説明：世界水会議 理事 Ahmet Mete Saatci
 - ④賞金ボード授与
 - ⑤記念品授与：旭酒造株式会社 社長 桜井一宏
 - ⑥フォトセッション
 - ⑦受賞団体 YSC からのスピーチ:Coordinator Iffah Rachmi 氏
 - ⑧京都市 松井孝治市長からのビデオメッセージ

受賞団体代表のスピーチ（抜粋）

「私は Iffah Rachmi と申します。YSC（ユース・サニテーション・コンサーン）を代表しています。

水と衛生は人間の生活の根源です。バンダールランブンの若者として、誰もが安全な水と衛生を享受する権利があると信じています。だからこそ、2020年に「ミレニアル・ファイト・COVID-19」を国際水事務局の支援を受けて立ち上げました。このイニシアチブは、健康的な生活を促進し、地域の衛生施設を改善し、太陽光ポンプを使って水のアクセスを増やすことを目的としています。

地域の参加が非常に重要であるため、私たちは長期的な成功を確保するために、コミュニティ管理グループを設立し、すべてのステップにおいて彼らを巻き込んでいます。

このイニシアチブは、私たちの取り組みを拡大し、水と衛生の重要性についての公衆の意識を高めるための最初のステップです。私たちは、水と衛生がコミュニティ生活のさまざまな側面に主流化され、安全で十分なアクセスが全国で達成されることを願っています。

今日この賞を受賞出来ることを誇りに思います。これは、若者がコミュニティ内の行動を変える力を持ち、安全な水と衛生アクセスの達成に向けて貢献できることを示しています。私たちは貢献する機会をもっと与えられるべきです。

最後に、YSCを認識し、私たちの努力を支援してくださった日本水フォーラムと世界水会議、京都市に心から感謝いたします。この受賞が他の組織を刺激し、すべての人々に安全で十分な水と衛生アクセスを実現するために協力することを願っています。」

Iffah Rachmi 氏 (YSC)

授賞式（第10回世界水フォーラム閉会式内）



（左から）旭酒造株式会社 桜井社長、日本水フォーラム 沖副会長、受賞団体代表 Rachmi 氏、WWC 理事 Saatci 氏



沖副会長によるスピーチ



桜井社長によるスピーチ



Saatci 理事によるスピーチ



賞金ボード授与（第10回世界水フォーラム HP
<https://media.worldwaterforum.org/en/photo>より引用）



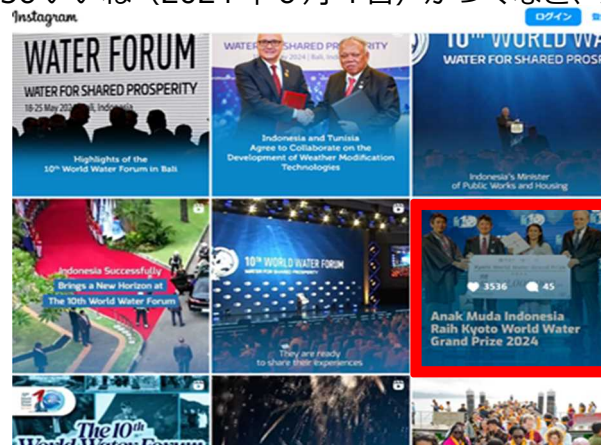
桜井社長による記念品授与



京都市 松井市長からのビデオメッセージ

第 10 回世界水フォーラム公式 Instagram の投稿

第 10 回世界水フォーラムの公式 Instagram にて、京都世界水大賞受賞式に関する投稿がなされ、3536 いいね（2024 年 6 月 4 日）がつくなど、反響がありました。



2. 受賞団体に関する情報

2.1 受賞団体の概要

団体名：Youth Sanitation Concern（ユース・サニテーション・コンサーン）

2018 年設立。オンラインおよびオフラインの両方の活動で、適切な衛生、生理衛生、石鹸での手洗い、改善およびメンテナンスされた衛生施設、および成長阻害の支援など、衛生に関連する問題を積極的に提唱し、あまり関心を得られない衛生について、独創的な方法で発信し、特に若者を引き寄せることを目指しています。活動では、若者コミュニティ、政府、非営利団体、大学、マスメディア、地域市民組織（CSOs）など、様々なステークホルダーと協力しています。

主な活動地：ランポン州バンダールランポン地区（インドネシア）

URL：https://www.instagram.com/ysc_id/（英語）





プロジェクト実施エリア

2.2 受賞団体によるプロジェクトの概要

- ◆ 実施期間：2020年8月～10月
- ◆ プロジェクト名：COVID-19と戦うミレニアル世代
- ◆ 実施場所：インドネシア バンダールランパング市
- ◆ 直接受益者数：108世帯（男性：210名 女性：230名 子供：80名）
- ◆ プロジェクトの目的と成果：

本プロジェクトは、パンデミックに対応して水へのアクセス向上と衛生慣行の改善を通じて、コミュニティの健康と生活水準の向上を目指したものです。啓発キャンペーンを通じて、パンデミックに対処する上で、手洗いの重要性について合計108の家族に教育を行いました。さらに、壊れた公共トイレの修復と石鹼を備えたシンクを設置し、清潔な衛生設備に15の家族がアクセスできるようになりました。最後に、施設の維持と持続可能性確保のために、管理グループが結成され、トレーニングを行いました。

◆ 評価ポイント

京都世界水大賞 2024 選定委員会メンバーのコメント（抜粋）

- ・ 長らく機能していなかった公衆トイレを改修することで、地域住民の公衆衛生環境を確保することに成功しています。また、インフラ面における環境改善のみでなく、周知キャンペーンを実施することで、地域住民に正しい手洗いの習慣を広めることができた点や、住民が協力して定期メンテナンスの費用を負担している点、住民同士の相談のもと管理係を決めて設備の維持に努めるよう導いた点から、地域コミュニティによる自助・共助の文化を育んだと言えます。総合的に見て、大賞にふさわしいと考えます。
- ・ COVID-19が猛威をふるう中で本プロジェクトを敢行されたことが最も評価されます。また持続可能性に関する課題についてモニタリング時に把握されている点も評価されます。

受賞団体によるプロジェクトの様子



プロジェクト前の様子



住民への周知活動



施設の修復と塗装の様子



プロジェクト実施後のトイレの様子

3. 協賛

本大賞は、次の協賛2社の皆様の多大なるご支援により実施することができました。
改めて深く御礼申し上げます。

旭酒造株式会社、株式会社島津製作所